

## 海水の酸性化とサンゴ礁に関するICRI勧告（仮訳）

本勧告文書は平成19年4月に東京で開催されたICRI総会において採択された決議である。

2007年の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)における、第4次評価報告書に対する第2作業部会からの提案として承諾された政策決定者への要約において、「大気中のCO<sub>2</sub>の増加に起因して進行しつつある海洋の酸性化は、海洋の貝形成生物(例えば、サンゴなど)とそれに依存する生物種に対して悪影響を与えることが予期されている」と記されていることを言及し、

国連環境計画(UNEP)サンゴ礁ユニットが、海水の酸性化が熱帯及び冷水性サンゴ礁を含む主要な海洋環境に及ぼしている影響に関してテレビのドキュメンタリー番組の作成を推進し、2008年初旬に世界中で放映されたことを歓迎し、

海水の酸性化がサンゴ礁に及ぼす実際の影響について、さらなる科学的情報及び普及啓発が求められることを認識し、

ICRIは以下のように呼びかける。

- i) 資金援助団体は海水の酸性化とサンゴ礁に関する調査・研究に継続的に資金を提供することを検討する。
- ii) 国際サンゴ礁学会(ISRS)は第11回国際サンゴ礁シンポジウム(ICRS)のために海水の酸性化とサンゴ礁に関する科学的報告資料の草案を準備する。
- iii) ICRIメンバーはこの問題について注意喚起を推進し対話を推奨する。